

支援機器相談シート

相談日 令和4年 7月 1日
担任名 岩附 友樹

中学部

相談内容
現在は iPad の操作を全介助（床にあぐら座位で二人羽織のような状態）で行っているが、一人で入力できるようにしたい。視線入力も考えたが、アテトーゼで注視することは難しい。
本人が入力しやすい姿勢の保持や iPad の支援具についてアドバイスをいただきたい。

相談結果
① 床に下りてあぐら座で活動しやすいようにするには。
➡座位を安定させることが大切。

- ・緊張が取れて手が使いやすくなる。
- ・視線が定まりやすい。
- ・介助者が楽に姿勢を支えることができる。

ポジショニング～快適な姿勢の作り方～

- ・身体を安定させてその姿勢を保つこと
- ・筋肉の緊張、こわばりを緩めてリラックスさせること
- ・体にかかる圧力のむらをなくして平均的にすること
- ・対象者が動こうとしたときに、サッと動き出せるようにすること

いろいろなクッションやバスタオルなどを使って姿勢を安定させるとよい。

* [福祉用具検索 \(nagoya-rehab.or.jp\)](http://nagoya-rehab.or.jp)
なごや福祉用具プラザHP内